

# 外部サービスを利用した学生 向け生涯メールサービスの提 供について

鹿児島大学 学術情報基盤センター  
下園幸一  
simozono@cc.kagoshima-u.ac.jp

1



## 目次

- 既存の環境と問題点
- 新メールサービスに対する要求
- Windows Live@Eduについて
- 生涯メールサービスの運用方針
- システム構築
- 運用状況
- 問題点と今後の課題

2

## 既存の環境(センターシステム)

- 入学時、全学生にセンター利用証を配布
  - 学部生：約9,400名、大学院生：約1,800名
- センター利用証で利用できるサービス
  - センター管轄のPC：約860台
    - 共有フォルダ
  - センター提供のメールサービス
  - オープンネットワーク

3

## 既存の環境(メールシステム)

- WEBメールサービス
  - Active!mail 2003 を利用
  - ほとんどの学生が「情報活用基礎」授業で利用する
- 一人当たりのスプール容量：50MB
- POPでの利用も可能
- メールエイリアスを設定可能
- 転送設定可能
- 卒業後一ヶ月で全削除

4

## 既存環境の問題点

- 大規模なファイルサーバとメールサーバが必要
  - 5TBのファイルサーバを利用
  - 商用版Sendmailを利用
- メール処理の遅延
  - 外部メーリングリスト(freeml等)に100数十人の登録があり、ここから数通メールが届くと処理が滞る
- システム更新時の移行が煩雑

5

## 新メールサービスに対する要求

- 大規模な容量
- WEBメールが利用可能
- センター利用証とのID連携
- 大学独自ドメインが利用可能
- 携帯電話からの利用
- 多言語インターフェイス
- 耐高負荷
- 卒業後も利用可能
  - 卒業生に対する大学からの情報提供の必要性←大学の中期計画に記載

6

## Windows Live@Eduについて

- 独自ドメインでマイクロソフト社が提供している各種サービスを無償で利用できる。
  - Windows Live Hotmail(メール)
    - Windows Live Calendar(スケジュール)
  - Windows Live メッセンジャー
  - Windows Live Space(ブログ)
    - Windows Live SkyDrive(ネットワークフォルダ)
  - Windows Live Mobile(モバイル)
  - Windows Live アラート(お知らせ)
  - Office Live Workspace beta(ドキュメント共有)

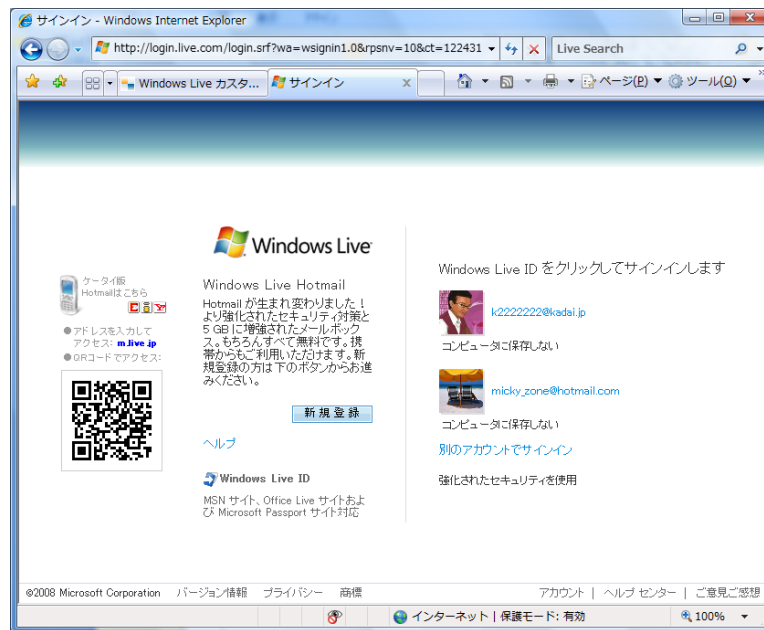
7

## 生涯メールサービスの運用方針

- センター利用証IDとの連携
  - 2008年4月から利用証IDの変更
  - 英字"K"+数字7桁(完全ランダム)
- メールドメイン名は @kadai.jp
  - 以前から持っていた汎用JPドメイン
- 入学時から卒業後も利用可能
  - 入学→卒業→大学院→修了でも連続して利用可能
- 卒業生に対して定期的に大学の情報を提供

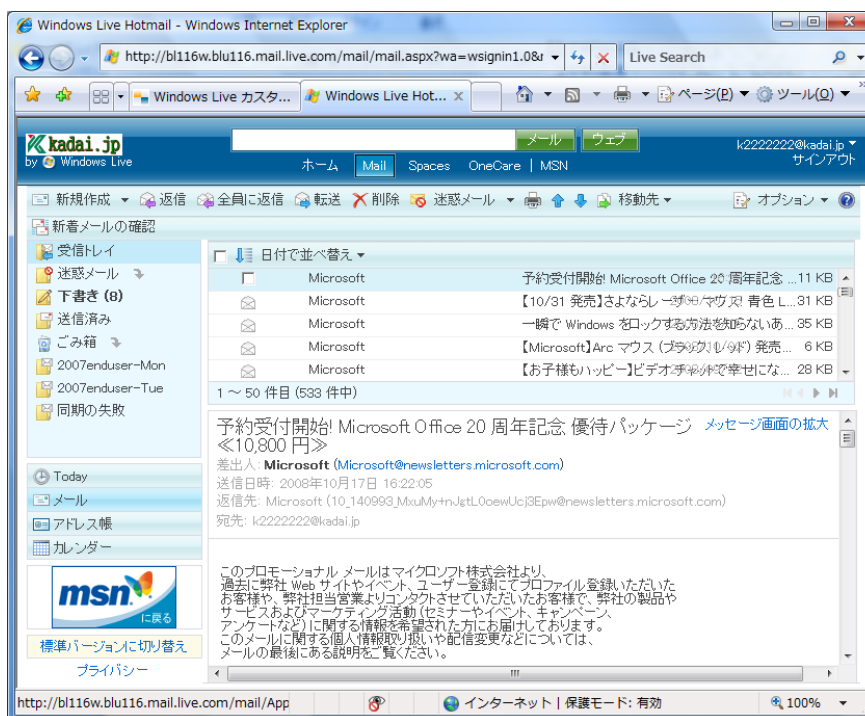
8

# Windows Live Hotmail(01)



一般の Windows Live hotmail と同じURLよりログイン

# Windows Live Hotmail(02)



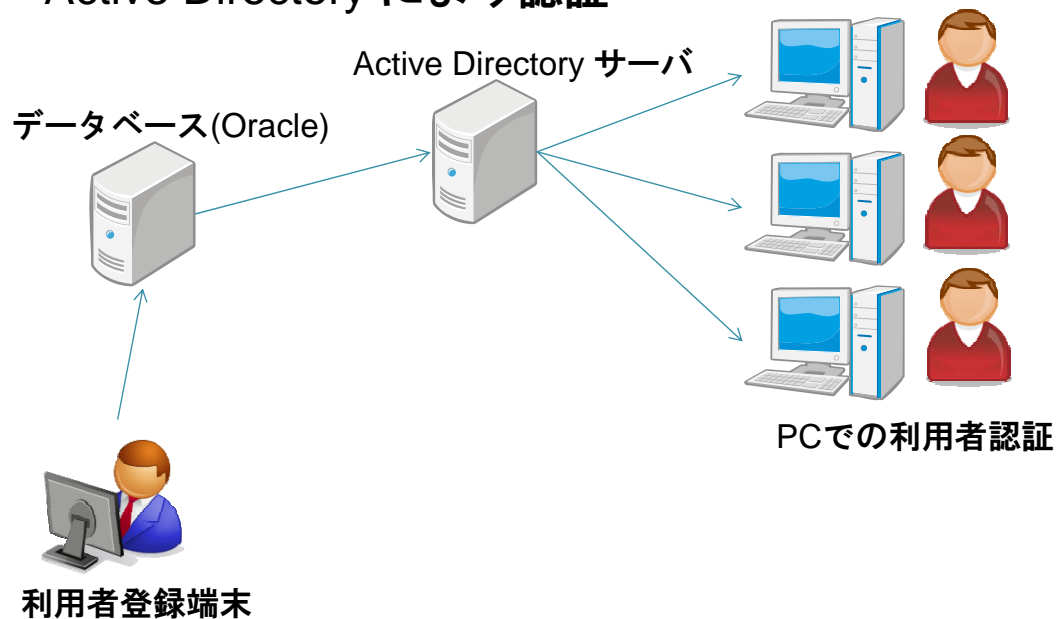
独自のロゴとメニューを追加できる

広告欄がない



# システムの構築

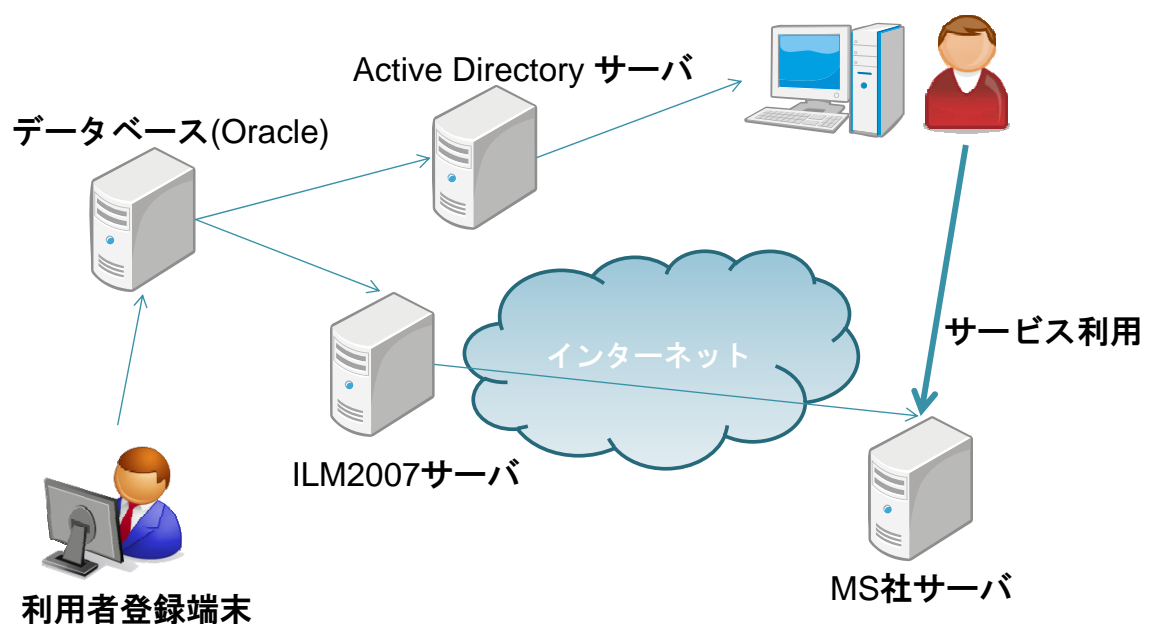
- 現システムは、データベースで利用者情報を管理
- Active Directory により認証



11

# システムの構築 (Windows Live@Edu)

- Microsoft ILM2007によるID連携
  - ILM2007の Windows Live@Edu 用のエディションを購入 (数万円)



12

## 運用開始までの手順

- 申込(エンロールメント)
  - WEB上から行う(現在は日本語でも提供されている) <http://get.liveatedu.com/>
  - ユーザ管理方法の選択
    - WEBから登録、コマンドラインバッチ、ILM利用
  - Windows Live@Edu で利用するドメインの登録

13

## パスワードの連携

- センター利用証に初期パスワード記載
  - PC利用およびWindows Live 利用時の初期パスワードは同一
  - PC利用のパスワードは30日以内にポータルサイトより変更しなければならない
  - Windows Live利用のパスワードは初回ログイン時に変更しなければならない
- 変更後パスワード
  - PC利用のパスワードはDBに登録される。
  - Windows Live パスワードはこちらでは把握できない。

14

## パスワードを忘れた場合の対応

- Windows Live Hotmail の機能
  - 利用者の初期設定時に「秘密の質問と答え」を登録するように指導
  - 代替メールアドレスを持っている場合にはその登録の指導
- ILMサーバ側で新たな初期パスワードを設定することでリセット可能

15

## 運用状況

- 利用統計は取れていない。
  - 現在ツールを開発中とのこと。
- 障害等に対するマイクロソフト社のサポート
- 2009年1月末までは、既存のメールシステムが利用できるためそちらを利用している人が多い。
  - 移行を促進しているが十分ではない。
- 2008年4月入学生は利用している(はず)。

16



## 問題点(01)

- 解消済み問題点
  - メール画面が英語
- Windows Live Hotmail 自体
  - WEBメールからメールを出すとリッチテキストメールになる。
  - 電子メールの転送設定を行うとhotmail側にはメールは残らない。
  - ID(メールアドレス)の変更はできるが、変更するとメールボックスは引き継げない。
- 運用上の問題
  - 卒業生が「パスワードを忘れた」と言ってきたときの対応
  - 卒業→入学の際のIDの継続

17

## 問題点(02)

- Windows Live Hotmail の問題点
  - Windows Live ID 作成後、180日以内に利用者による初期設定が行われないと、メールボックスが削除される。
    - 卒業生へのメールマガジン配布で問題となった(配送エラー)
  - 360日間利用がない(在学生の場)とメールボックスが削除される(卒業生の場合は180日)

18

## 今後の課題

- 利用者任意のメールアドレスを利用できるようにする
  - 学内にリレーサーバを立ち上げる
- 既存メールサーバからの移行の促進
  - 今年度末に大変なことになる
- Hotmail 以外のサービスの利用促進
  - 次期システムでは共有フォルダをなくす  
→SkyDrive を普及させる
  - Calendar, アラート等を何かに利用できないか？
- ポータルサイト等、センターシステムとの融合